

共利群生の もりをめざして

2023
第23号
秋



令和5年5月12日 献木記念事業 倒指しの藤 藤棚修繕法要を執り行いました。

高野山には、例えば“三鈴の松”に代表されるように、木にまつわる伝説が数多く伝えられています。壇上伽藍に植えられている“倒指しの藤(さかさしのふじ)”にも次のような説話が伝わっています。平安時代に活躍した高僧に祈親上人定誉(きしんしょうにんじょうよ)という方がいらっしゃいました。この方は、『法華経』を深く信仰していたため、持経上人とも呼ばれました。長和5年(1016年)に上人は高野山へ上られますが、当時の高野山は落雷による火災などで荒廃し、見るも無惨な世界が広がっていました。この有様を悲しんだ上人は高野山の再興を誓い、「願掛け」として藤を地面へ逆さに植えたのでした。不思議なことに、この藤はしばらくして芽生えはじめ、それとともに高野山の再興の兆しが見え始めたということです。それ以来、倒指しの藤は祈親上人のご意志を受け継ぎ、今も1000年以上当時と変わらず、高野山を見守り続けているのです。このような山内境内地の銘木の保全もまた、山林寺有林とともに山林部の重要な使命です。皆様のご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

山林部一同

高野山の豊かな森を後世に



共利群生のもりをめざして 2023 第23号

発行/金剛峯寺 山林部 〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山132 TEL.0736-56-2016(直) FAX.0736-56-4640



献木一口
2,000円

皆さまから寄せられた献木のご浄財は、高野山の森林護持の為に大切にに使わせていただいております。
ご献木(ご寄付)いただいた皆さまには記念品を進呈致します。



高野霊木と五色の霊玉により、腕輪念珠を作製しました。

使用済念珠の取扱について

破損等で不要になった念珠は、奥之院燈籠堂にお納めさせていただきますので、山林部宛にご返送下さい。(送料実費)

1口 2,000円
の場合
どちらかを
お選び下さい

高野霊木 スマホスタンド

NEW 軽くて持ち運びに
便利です



スタンド
サイズ
縦:18.4cm
横: 8cm
厚さ:0.5cm

ご好評につき
追加製作
致しました



置いて
充電
できる!



※発送は11月頃を予定しております
カレンダーの販売は代引きでのみ行っております。
全国一律5,000円(手数料送料込み)

高野霊木カレンダー短冊付
(限定1,000本)

5口 10,000円
の場合
どちらかを
お選び下さい

高野の森の香りハンドクリーム
(限定100個)



高野山を代表する樹木であるコウヤマキをメインに
杉・ヒノキなどの高野山の森林の香りをイメージした
アロマハンドクリームです

◆ 通信欄 ◆

皆様から頂きました献木志納金は祖山環境の維持のため、大切にに使わせていただいております。

献木の受付は金剛峯寺ホームページから行えますので、是非ご覧下さい。

春号にてお知らせしたスマホスタンドはご好評につき追加製作し、数量を増やしており、ご希望の方にはお届け可能となっております。

令和6年版高野霊木カレンダー(短冊付)の予約を受付中です。今回の短冊は、高野山真言宗管長金剛峯寺第415世座主長谷部真道大僧正親下揮毫の「真心」です。

この会報は春と秋の年2回、献木にご協力頂いた方にお届けしております。



このリーフレットは環境と資源を守る
植物油インキを使用しています。

献木受付は
こちらから



会報バック
ナンバーは
こちらから



『献木』お振込先

振替用紙をご送付致しますので、山林部までご連絡下さい。
郵便振替口座: 大阪 00930-6-61758
ゆうちょ銀行: ○九九支店 当0061758
加入者名: 宗教法人 金剛峯寺山林部

●窓口やATMでの払込みサービスを現金で利用するときには、1件ごとに料金110円が加算されます。通帳またはキャッシュカードを利用する場合は加算の対象外です。

お問い合わせ

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山132 金剛峯寺 山林部
TEL.0736-56-2016(直) FAX.0736-56-4640
E-mail sanrinka@koyasan.or.jp
※次号から会報の送付を停止する場合は、お手数ですがご一報下さい。



こうやくんからの挑戦状

壇上伽藍に関する3問のクイズが
こうやくんから出題されました。
そのうちのひとつを紹介させていただきます。



問 平成27年に再建された中門には
南側に多聞天・持国天、
北側に増長天・広目天が祀られています。
この増長天・広目天の
胸元に飾られた昆虫はなんでしょう。



広目天

答えは「とんぼ」「せみ」です。今回は「せみ」について紹介させていただきます。なぜ「せみ」なのでしょう。広目天はその名の通り「広く見通せる目」を持つとされ「セミの声のように遠くまで仏法を伝え、すべてを見ている」と言われています。私たち山林部も「木をみて森もみる」そんな祖山の環境整備に努めなければなりません。

御誕生 わくわく ワークショップ



苔テラリウム

転軸山周辺の苔を利用した苔テラリウム作り
体験を実施いたしました。
石にお地蔵さまの絵を描いたり好きな苔を配
置したりと、小さな高野山の世界作りに皆さん没
頭され、喜んでお持ち帰りいただきました。



苔テラリウム



高野六木 コウヤマキ で染める草木染

高野山の森林の施業の一環として定められた高野六木制度。

1800年代から脈々と引き継がれてきたこの制度は現在の森林施業に至るまで今も引き継がれています。

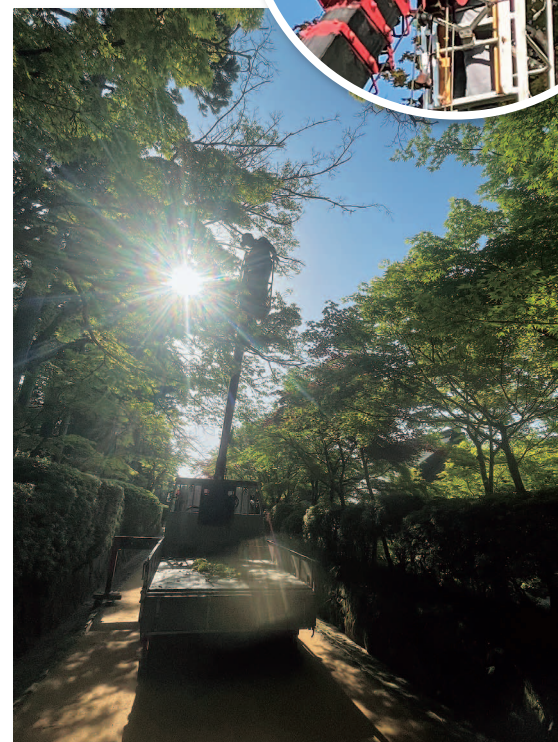
主に金剛峯寺の山林の森林施業を担っている高野山寺領森林組合では整備の際に出る間伐材や不要な枝葉を活用して、日常使いできる雑貨作りにも取り組んでいます。

今回、高野六木の一つコウヤマキを使った草木染のワークショップを開催しました。

コウヤマキの枝葉を煮出し、媒染液(ばいせんえき)につけると、石灰媒染の場合はオレンジよりの茶色に、鉄酢酸媒染の場合は青みがかった灰色に色が変わります。

草木染はコウヤマキだけでなく、様々な植物で楽しむことができます。

植物の色を楽しむ、これも一つの自然の恵みを享受する方法の一つです。



朝陽とともに撤去作業開始しました



稚児行列

蛇腹路 枯枝の撤去作業

じゃばらみち

御誕生法会期間中の毎週日曜日は全国各地
域伝道団による報恩法会が執り行われ、稚児行
列も参加いたしました。

法会期間開始後すぐ、蛇腹路参道沿いに危険
な枯れ枝を確認したため木徳林業様(和歌山県
有田市)に相談したところ参拝客の安全確保優
先として次の日の早朝より撤去作業を無償にて
実施いただきました。

おかげで稚児行列も無事に終了することが
できました。感謝申し上げます。ありがとうご
ざいました。



エスディー・ジーズ

SDGs × 山林部



SDGsのご協力ありがとうございました。 金剛峯寺は持続可能な 開発目標 (SDGs) を支援しています。

今回、御誕生法会期間にあわせ休憩所を設置いたしました。

この休憩テントへのゴミ箱設置を見合わせました。そしてす
べての机にゴミの持ち帰りのお願いを掲示いたしました。当初
は不安でしたが、みなさま本当にきれいにご使用いただき、さす
がはお大師様のお山に来られる方のマナーの良さに感激いたし
ました。



エアコンを完備した休憩テント



全テーブルにピクトグラムで案内表示しました



12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS